7月５日（日曜日）「知性と思慮とを」

【新改訳 2017】

箴言　3•13－26

「わが子よ。すぐれた知性と思慮とをよく見張り、これらを見失うな。それらは、あなたのたましいのいのちとなり、あなたの首の麗しさとなる。こうして、あなたは安らかに自分の道を歩み、あなたの足はつまずかない。」（21－23節）

ここには三節文を引用しましたが、この前後も含めて、いろいろな表現で「知恵と英知」の重要性が強調されています。

それは金銀や真珠にも勝り、長寿と栄誉とたましいのいのちが約束され、その人の飾りとなるからだとも言われています。

私たちの信仰生活はどうでしょう。知性の重視はあまり霊的でないように考えたり、感情的興奮が霊的だと考えてはいないでしょうか。また、この「知恵」がキリストを暗示するとすれば、一

層その重要性がわかります。コロサイ人の手紙の中にも、「このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されている」(2、3)とあります。真の知恵の祝福にあずかれますように。

～祈り～

主よ。知性や思慮よりも感情で語ったり行動したりしがちな私達ですが、あなたの知恵と知識をいただいて、安らかに道を歩む者にしてください。

【学びのために】

箴言 18•2、6、7参照。